

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートGOLD		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日		2026年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 1月 8日		2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別に対応し、各々の発達に合った個別支援を行っている。 自主的にやりたいことを活動に取り入れている。 一人一人に寄り添い、児童に合った支援活動を行い、意欲的・主体的な活動と楽しい支援に繋げている。	手作りの支援グッズと遊びの中に支援のエッセンスを入れ、楽しく取り組めるようにしている。 個別支援の対応に偏りがないようにしている。 児童が活動を終えたときに満足感が得られる取り組みが出来る。集中できる時間を踏まえ、声掛けをし、意欲につなげていくようにしている。	個別以外にも集団でも楽しめるような活動を増やしていく。 一人一人について理解を深められるように、子どもの情報共有を行い、その子に合わせた支援を行えるようにしている。 生き生きとした活動が出来るように児童の意向をより傾聴していく。
2	職員間の仲の良さ。	普段からのコミュニケーション。	ミーティング、普段のコミュニケーションからの支援のアイデア。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の知識・スキル不足。	一人一人の認識に違いがあり、支援が十分に行き届いていない。	研修の中で、具体的な事例を検討しながらより実践的なものとする事で理解を深めていきたい。
2	集団活動の少なさ。	個別支援から、自由遊びの流れが固定化されてしまっているため。	個別の時間を短くするなどの工夫が必要。
3	自主的に遊びこめる環境整備。 個別活動時の児童の取り組むスペースが狭い。	遊びの中で(自主的な)5領域を高めていく働きかけ。 年齢に応じた机椅子などの数が少ない。	コーナー遊び等でより遊びこめる環境を作っていく。 備品の数を増やす、パーテーションなどで区切って取り組める環境を作る。